

## 日本医歯薬専門学校 2022年度 学校関係者評価委員会 議事録

作成者:今井 哲也

日 時	2022年6月19日(日) 10:00 ~ 12:00
場 所	日本医歯薬専門学校 2階 201.202 教室・Online(ZOOM)
目 的	保護者、地域住民、業界、卒業生の代表者委員により、教育活動やその他学校運営の状況について評価を行う。この評価を、今後の学校経営や教育活動の改善に反映するとともに、広く公表するために実施する。
参 加 者	<p>●学校関係者評価委員会 委員</p> <p>&lt;保護者代表&gt; 小林 桂子 (視能訓練士学科Ⅰ部2年 小林千夏保護者)</p> <p>&lt;地域代表&gt; 糟谷 一 (高円寺中央地区町会連合会会長、高南二丁目町会会長他)</p> <p>&lt;高等学校代表&gt; 及川 勉 (昭和第一学園高等学校 理事)</p> <p>&lt;卒業生代表&gt; 下里 保奈美 (歯科衛生士学科Ⅱ部 卒業生) (Online)</p> <p>&lt;業界代表&gt; 山内 豪之 (杉並区歯科医師会 会長) (Online)</p> <p>&lt;業界代表&gt; 富田 基子 (東京都歯科衛生士会 顧問) (Online)</p> <p>&lt;業界代表&gt; 篠原 陽子 (日本チェーン・ドラッグストア協会 H&amp;B 人材育成センター 事務局長)</p> <p>&lt;業界代表&gt; 長面川 さより (株式会社ウォームハーツ 代表取締役)</p> <p>●学校法人東京滋慶学園 日本医歯薬専門学校 教職員</p> <p>&lt;理事長&gt; 中村 道雄</p> <p>&lt;学校長&gt; 須田 英明</p> <p>&lt;顧問&gt; 近藤 健示</p> <p>&lt;本部長&gt; 小川 昭久</p> <p>&lt;副本部長&gt; 関口 崇之</p> <p>&lt;事務局長&gt; 篠田 美和</p> <p>&lt;教務部長&gt; 富田 恒雄</p> <p>&lt;学部長&gt; 豊島 義人</p> <p>&lt;学科長&gt; 星野 悠</p> <p>&lt;学科長&gt; 今井 哲也</p> <p>&lt;学生サービスセンター長&gt; 保科 英俊</p> <p>&lt;キャリアセンター長&gt; 今井 恭平</p>
議 題	進行:篠田事務局長
1. はじめに	<p>中村理事長</p> <p>・自己点検自己評価に対する委員会の皆様の忌憚なきご意見をお願いいたします。</p> <p>須田学校長</p> <p>・評価委員をお引き受けいただき感謝申し上げます。</p> <p>・組織は中にいるよりも外から見ていただいた方が課題点がよく見えてくると思われるので、教育活動や学校運営に活用していきたいと思っております。</p>
2. 会の目的について	<p>関口副本部長</p> <p>・資料参照</p> <p>2013年から職業実践専門課程が導入された。</p> <p>現状 2800校のうち 1700校が認定されている(40%)</p> <p>学園グループにおいては90%以上の学校・学科が認定されている。</p> <p>学校関係者評価委員とは学校が行った自己点検・評価を2次評価していただき、その評価を情報公開していくことで教育の質の担保を目指していく。</p> <p>教育課程編成委員は業界の変化に対応すべくご意見を頂戴して教育内容の改善を行っていく。(年2回)</p> <p>この2本の軸で教育の質を担保していく。</p>

今回いただいた意見を基に次年度の事業計画に生かしていきたい。

3. 学園、職員紹介

篠田より紹介

4. 学校関係者評価  
委員紹介

(3,4)詳細は参加者欄参照

5. 2021 年度事業  
報告

【広報】 ppt 資料あり

2022 年度の新入学生は 285 名の定員に対し 251 名にご入学していただいた。

夜間の学科を中心として定員に満たなかった。

「2022 年度の新たな取り組み」

①商品イノベーション

歯科衛生士学科はさらにコンパクトな教育を目指して昼間部を「午前部」に変更し、学生さん個々の状況により午後の時間にプライベートレッスンを行うことで個別最適化を行うことになった。

業界のご意見の中で歯科衛生士のみではなく、歯科助手の教育も必要ではないかというご意見をいただき、歯科助手学科を新設した。

くすりアドバイザー学科から登録販売者学科へ学科名の変更を行った

②リードナーチャリング

18 歳～40 代のかたを含めて学校選択の際に来校だけではなく、web 上で情報を収集していく傾向があるので来校しなくても学校のことをご説明できるシステムを導入した。

【教育】 ppt 資料あり

中途退学率は学生さんをすべて進級・卒業させたいというのが希望であり理想だが 24 名の目標に対して 34 名の中途退学者となった。

学校としてしっかりと対峙していく課題と考える。

学生により理由は様々になるので、お一人お一人の状況にどれだけ寄り添えるかを考えていく。

学校独自の委員会を組織し、対応していく。

【国家試験】

歯科衛生士 I 部 63/63(100%)

歯科衛生士 II 部・視能訓練士学科 I・II 部は残念ながら各 1 名の不合格者が出ってしまった。

全員が今年度の再挑戦を希望しており模擬試験にも参加している。

「2022 年度新たな取り組み」

①産学連携教育・ICT 教育

(VR・AR に対して動画にてご説明)

生理学や人体の構造に関して学生が理解しにくいというご意見を受けて、平面的なテキストを立体的にとらえられるようにシステムの開発を進めている

VR と Holoeyes を体験していただく

学生の自宅学習を目指して開発をしていく。

文部科学省と共同研究として行っている。

【就職】

就職希望者に関しては 4 月にて 100%の内定をいただくことができた。

今年度は 3 月中での内定を目指していく。

コロナに関しても特筆的に大きな影響なく求人が届いている。

	<p>「2022 年度新たな取り組み」</p> <p>①業界連携強化</p> <p>キャリアセンター組織のイノベーション</p> <p>キャリア業界連携センターに名称変更し、業界連携に注力していく。</p> <p>従来、2 年生の後半から就職活動を行うことが多かったが、1 年制課程に関してはプレカレッジの段階から就職活動支援を行っている。</p>
<p>6. 2021 年度自己点検・自己評価報告</p>	<p>評価委員には事前に自己点検自己評価一覧を確認していただいたので要点のみお伝えする。</p> <p>1(篠田)</p> <p>学校理念に沿って実行している。</p> <p>2(篠田)</p> <p>事業計画を立て、中長期的な目標も含めた計画を立てて運営を行っている。</p> <p>3(富田)</p> <p>3-8-1</p> <p>事業改革のため FD 委員会を学校独自で組織している。</p> <p>学校全体の教育の改善に取り組んでいる。</p> <p>3-9-2</p> <p>教育課程編成委員会を年間 2 回の実施</p> <p>3-11</p> <p>学園グループのシステムを活用して国家試験対策を行っている。</p> <p>※国家試験結果は上記</p> <p>4(豊島)</p> <p>資格・免許の取得率と退学率への評価に対しては「2」としている。</p> <p>1)学生のモチベーションをどのように持ち上げ、維持させるか。</p> <p>2)合理的(効率的)な教育を提供する。</p> <p>入学生＝資格受験生＝合格者を目指して今後も精進していく。</p> <p>5(豊島)</p> <p>学園グループとしての学生支援制度を動画にて見ていただく(入学式使用動画)</p> <p>医歯薬における支援も学園と同様に行い、学校組織として学生さんに対して支援をしていく。</p> <p>退学率の低減を目指していく。</p> <p>6(保科)</p> <p>ICT 教育に必要な機材や環境の整備を随時進めていく。</p> <p>実習に関してはコロナかではあったが、関係施設のご協力をいただき、実施することができたが、海外研修に関しては実施が不可能であった。</p> <p>※補足(篠田)</p> <p>6-23</p> <p>2022 年度に関してはすべて通常の実施に戻している。</p> <p>海外研修に関しては次年度以降、通常に戻していく。</p> <p>7(保科)</p> <p>学生募集に関してもコロナの影響により、オンラインの活用を行ったが定員充足には至らなかった。</p>

就業意欲を評価するために面談評価を重要視している。

8(篠田)

お預かりした学費に関しては法律や外部監査の環境を整備し、適切に運用している。

9(保科)

法令を遵守し、変更があった場合は適宜対応している。

10(星野)

2020年度は様々な行事が中止になってしまった。2021年度はできる限りの行事を行った。海外研修などをオンラインで実施できた。

2022年度は視能訓練士学科・歯科衛生士学科 I 部が学校検診に参加している。

## 7. 質疑応答

(富田)

教育環境において去年の卒業生に関しては実習が困難だった学生に対して卒業後も研修の案内をしていただければと思う

(篠原)

前回に比べて大きく変わっている。

VRなどの活用に関して、全課程に適応しているのか

→(保科)

現状においては歯科衛生士学科において先行研究を行っている。

3年間の文部科学省からの委託研究になるので、成果が出れば他学科や他校への展開を行っていく

(篠原)

今すぐではないが、全体を見ながら人体の動きが見えるようになるとより効果的だと思われる。

国のほうに提案していただきたい。

(及川)

項目2に関して施設への電話連絡に際して医歯薬の対応がとてもよかった。

働き方改革に関して職員の健康管理はどのように行っているか。

項目7に関して定員はどう決めたのか。

→(篠田)

職員の健康管理は健康診断を含めて通常の業務管理も含めて対応している。

各職員の月の残業時間を漸減できるように業務においてもDX・Online化に挑戦していく。

285名の定員数に関しては校舎の面積から算出された数値であり、クラス・学校運営上も適切な定員数と考えている。

(及川)

1320校の高等学校のうち7割が定員に達していないという情報がある。

専門学校としても募集が大変になるのではないかとと思われる。

(下里)

項目7に関して

コロナ下におけるOnline対応に関してはどの程度行ったのか。

→(篠田)

2021年度に関してはほとんどの学生が1度は来校することができた。

Onlineのみの参加で未来校なのは2割程度

2020年度は4割程度と多かったので減少傾向にある。

(下里)

Ⅱ部が減ってきているのは社会人が減少して高校新卒が減っているのか？

Ⅰ部の午前部となり、働きやすくなったのでⅡ部からⅠ部へ変化しているのか？

高校2年生でオープンキャンパスなど参加者の年齢層が低くなってきているのか？

→(篠田)

学校全体の入学生の年齢分布は大きく変わっていない。

新卒と既卒はおおむね(新卒)45%・(既卒)55%は開校以来大きく変わっていない。

従来、昼働いて夜に働く傾向から、昼に学ぶ傾向に変化しているが、現状においても昼に仕事をしている方がいることも事実なのでその方たちの学びのために継続して募集していく。

オープンキャンパスに関して参加年齢が早くなってきているのでそれぞれの年齢に対して専用のイベントを用意し、丁寧な学科・職業の説明を行っていく。

(粕谷)

地域の代表として質問したい。

高円寺の町全体としてもいろいろな行事が中止になっている。

4大行事は1つか2つ実施できたくらいで規模もかなり縮小していた。

例年は学生が多くボランティアで参加していただいた。

今年の予定として

8月27.28日:阿波踊り

座・高円寺での舞台公演は行いが、商店街や公道での演武は行わない予定でボランティアがない。

通常に戻ったら再度お願いしたい。

杉並第八小学校の跡地には図書館と東保育園が移転してくる。

地域コミュニティのスペースが設けられる

令和7年には校庭に防災公園が設置される。

日本医歯薬の避難地はそこになる予定。

火災発生時に杉六までの避難経路が確保できるか不安がある。

環七や青梅街道は災害時に通行止めになるので少し広い道は車通りが激しくなる。

避難経路はその点を踏まえて検討してほしい。

杉並学園での歯科指導は継続して行って行って欲しい。

区の地域課に対しては相談することが可能なので、いつでも声をかけてほしい。

全体的に様々なことに多くの工夫をしていると感じ、高評価をつけたいと思う。

(長面川)

項目3に関して

横断的教育活動に関して様々な学科で共有していくことで中途退学者の減少にも活用できるのではないかと。今後さらに発展させて行って欲しい。

(小林)

歯科衛生士学科 100%の国家試験合格はすごいと感じ、他学科での不合格者に対してもフォローしてくれるのは保護者として安心できた。

入学前にはコロナがなかったので、パンフレットに記載してあったことが実現できないこともあったのは残念だが、今後、コロナがなくなることはないと思うのでそこを意識しながら今後も発展させてほしい。

(山内)

	<p>コロナ下ということでいろいろな工夫をされてきたのでコロナが収まったのちにもこのまま継続をしてより効率的な運営をしていって欲しいと思う。</p>
<p>8. 事務連絡</p>	<p>事務連絡(篠田)</p> <p>評価表に関しては基本的には本日ご記入をしていただき、提出をお願いします。</p> <p>本日の記載ができない場合とオンラインの方は本日から明日までにご投函ください。</p> <p>交通費等に関しては火曜日までにご投函をお願いします。</p> <p>来年はもう少し時期を早めていく予定。</p>
<p>9. おわりに</p>	<p>近藤顧問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重なご意見を多くいただいて感謝申し上げます。</li> <li>・ここ数年で授業の形式が大きく変化した。よかった部分もあるが、弊害も出ているのでハイブリット(いいとこどり)をしていきたい。</li> <li>・地域への貢献が大きく減っていたので何かしら貢献をすることができればと思うので引き続きご協力お願いします。</li> </ul> <p>小川本部長：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日のご意見から学園としての取り組みをご説明させていただく。</li> </ul> <p>この2年間コロナ下でどのように対応するか。オンラインを使用し学習の継続を目指してきた。</p> <p>学園全体として4月～GWまでに体制を整えることができた。</p> <p>十分だったかは不明だが、学習をスタートすることができた。</p> <p>そこからスキルを蓄積し、今はスムーズに運営ができていると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革に関しては情報公開をして、全職員の傾向を確認し専門の相談窓口を学園内に設置している。</li> <li>・臨床実習に関しては学生の皆さんにご苦勞をおかけしたと思う。コロナの状況に応じて可能な限り実習の継続を目指してきた。</li> </ul> <p>コロナ下で得たノウハウを次年度の事業計画に生かしていきたい。</p>

以上